



- ◆ルビーロマン栽培管理講習会
- ◆集落営農組織連絡協議会 通常総会開催
- ◆小学校こども田植え体験



「ほくの里」

支店フリーダイヤル

内 灘 支 店 ☎ 0120-968-971
津 幡 支 店 ☎ 0120-968-972
津幡東支店 ☎ 0120-968-973
宇ノ気支店 ☎ 0120-968-974
高 松 支 店 ☎ 0120-968-975

「みんなのよい食プロジェクト」を推進しています。



発行/石川かほく農業協同組合
編集/リバノス編集局

石川県河北郡津幡町字清水子329番地
〒929-0326 TEL. 076-288-3331
月刊：毎月10日発行
印刷：宮下印刷株式会社

<http://www.kahoku.is-ja.jp/>



JA石川かほく



ほくほくニュース

「ういずOne」栽培開始

JA全農式ト口箱養液栽培「ういずOne」によるトマトの定植が五月二十三日、農事組合法人池ヶ原ファーム、農事組合法人市谷の育苗ハウスで行なわれ、栽培が開始されました。

JAグループ石川営農戦略室久司知己氏、当JA営農企画課の職



定植する生産者

員の指導のもと、ハウス内に設置されている発砲栽培槽プラスポックス五百七十六箱にミニトマトの品種アンジェレ千二十本、プレミアムルビー百四十四本を定植し、約三分間ト口箱養液を注ぎ込みました。両組合法人は、今後の管理方法についても説明を受け、昨年以上の収量、品質をめざしています。

JA全農式ト口箱養液栽培システム「ういずOne」の取り組みは、当JAの自己改革の一環として、水稲育苗後のハウスを利用した生産物の複合化に取り組んでおり、昨年度から津幡町の二営農組合で導入し、TAC(営農経済渉外)指導の下、栽培・出荷を行なっています。

ルビーロマン栽培管理講習会

ルビーロマン研究会は五月十日、県砂丘地農業研究センターで石川県産のオリジナルぶどう品種「ルビーロマン」の栽培管理講習会を開催しました。

生産者・関係者合わせて約九十名が今年度の目標房数二万六千房を目指して、栽培の注意点や手順を確認しました。

同研究会の大田昇会長が「今回の講習は大事な作業なので、高品質なルビーロマンを出荷するためにしっかりと学んでいただきたい」とあいさつ。県内の各農林総合事務所職員から生育状況について報告がありました。

講習では、農薬の散布やきれいな房形を作るためにぶどうの余分な粒を切り落とす、「花穂整形」という作業について、同センター職員が実演を交え説明。生産者は一つ一つ作業を確認していました。今年から、商品化率の高い生産者技術やノウハウの普及を目的としたデジタル化による篤農

技術の「見える化」が活用され、写真を交えながら花穂の判断ポイントについて説明がありました。現在のルビーロマン生産者は県内で百二十一戸。

二十五日には、第二回のルビーロマン栽培管理講習会が開催され、約八十名が参加。商品比率向上に重要な摘粒作業について学び、生産者全個別に指導するなど最終段階にさしかかり生産者からは多くの質問がとびかいました。生産者は高品質生産を目指します。



花穂整形の実演をするセンター職員

集落営農組織連絡協議会 通常総会開催

平成二十九年年度J A石川かほく集落営農組織連絡協議会通常総会が五月二十二日、二十八宮農組織から三十七名が出席。当J A本店三階大会議室で行なわれました。はじめに、向正則会長が「集落営農組織連絡協議会もまだまだ、これからです。みなさんのご協力をお願いします」と挨拶。次に当J Aの種本博代表理事専務が「コスト削減による所得増大、担い手不足の状況の中、地域農業を守っていくのは集落営農組織です。今後さらに集落営農組織が発展していただきたい」と祝辞をのべました。「平成二十九年年度事業報告並びに収支決算承認の件」ほか、二議案について審議され、承認されました。

その後、圃場巡回として、クミアイ化学亀山俊介氏より西部育苗センター隣の水田にて、水稻除草剤（豆つぶ剤）の説明、施用方法についての実演を体験し、GAP取組実地研修として農事組合法人池ヶ原ファームで、J Aグループ石川営農戦略室山本啓暉氏より農業をするために「安全な農産物の



研修を受ける参加者



総会で挨拶をする向会長

生産」「環境の保全」「農業者の安全確保」などを目標として、倉庫の整理整頓などによる無駄の排除、作業の効率化など危害を未然に防ぐための改善活動に取組む研修を受けました。

*GAP (Good Agricultural Practice) とは、未来に渡って持続的な農業生産活動を行なうために必要な取組みのことで「適正農業規範」と称しています。

紋平柿摘蕾講習会 開催

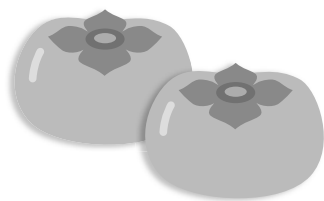
五月十二日、高松紋平柿生産組合は、生産者・関係者約三十六名が八野柿団地、瀬戸町柿団地、西山柿団地にて、かほく市特産「紋平柿」の摘蕾講習会を開催しました。講習会では、摘蕾方法と今後の管理についてなど、栽培の重要なポイントを確認しました。津幡農林事務所職員から、「五月上旬の強風等により一部では、新梢の折



摘蕾方法を確認する職員と生産者

れなど被害が見られましたが、今後の生育に影響はないこと。三月から四月の気温が平年より高かったこともあり、生育が平年より四日ほど早まっているため、摘蕾等の作業を早め早めに行ないましょう」と説明がありました。同職員が生産者とお互い確認しながら、実際に摘蕾作業を行ない、活発に意見交換しました。

摘蕾とは、余分な蕾を落とす早期肥大を促進させる重要な作業で、生理落下の軽減やへたすき果の減少を目的とし、出荷時に大きく左右するものです。



田植え体験



大海小学校

かほく市立大海小学校五年生十八人は五月十一日、中沼宮農組合の木本弘氏の水田でゆめみづほの苗を植えました。

児童は、苗の植え方を習った後、苗を手に三・六アールの田んぼに足を踏み入れました。

児童のほとんどが田んぼに入ることに自体初めてで、畦で尻込みしていましたが先生に促され、数人が入ると恐る恐る全員が田んぼに足をつけました。

泥の中に足を入れた瞬間歓声が上がりましたが、感触になれてくると苗を植えることが面白くなり、「苗がなくなったらちようだい」と至るところから声が上がリ、衣服が汚れるのもかまわず田植えに熱中していました。

収穫体験は夏休み中を予定しており、調理実習で使用します。五年生は現在、学校で米づくりの学習を行なっており、普段食べているお米がどのようにして作られるのか、体験を通して学びました。



田植えをする5年生児童



苗の植え方を教わる児童

高松小学校

五月十五日、晴天のなか、かほく市立高松小学校五年生六十八名が同市瀬戸町の約六アールの水田で「田植え体験」を行ないました。石川県県央農林総合事務所職員から苗の植え方の説明をうけ、コシヒカリの苗を持って田んぼに次々と入り、田植えを始めました。

田んぼに入ると「ヌルヌルして気持ち悪い」「虫がいる～」などの声があがりましたが、同事務所職員、瀬戸町宮農組合の組合員、当JA職員と一緒に田植えを行なうと、最初はこちなく田植えをしていましたが、慣れてくると楽しく笑い声をあげ、早く田植えを終えようと服が汚れても一生懸命に苗を植えました。最後に同事務所職員から「みんなが植えた苗がどんなふうにつくか楽しみにして、九月の稲刈りの頃にまた会いましょう」と話しました。



田植え枠に沿って苗を植える児童





小学校こども

刈安小学校

津幡町立刈安小学校全校児童と隣接する寺尾保育園園児約三十人は五月九日、刈安営農組合の協力の下、学校横にある米作り体験農園でカグラモチの苗を植えました。

同校の上野幸代校長が「お米という字は八十八という文字からつくられたと言います。八十八回いろいろなお世話をしておいしいお米ができます。秋においしいお米ができるように願いをこめて植えてください」とあいさつ。同組合の西川一郎氏から植え方や、昔の農具と現代の田植機の比較について説明を聞き、機械化によって農作業の時間が短くなっていることを知りました。

一年生を除く全員が田植え経験者で、裸足で田んぼに入りうまくバランスをとりながら、心を込めて丁寧に苗を植えました。手植え作業の後、児童らは同組合員と一緒に田植機に乗って記念写真を撮るなど楽しい体験となりました。



田植機に乗り記念撮影する園児



田植え体験に挑戦する園児と児童

田んぼは、今後、同組合が管理をし、児童らはその生育を観察。九月に稲刈り体験、十一月には収穫祭を開催する予定です。

笠野小学校

五月十一日、津幡町立笠野小学校三・六年生二十七名が農事組合法人市谷の約ハアールの水田で「田植え体験」を行ないました。はじめに、中谷校長先生より「五月晴れのなか、土や風の暖かさを感じながら田植えを行なってください」と挨拶のあと、同組合法人の前田衛氏から

稲刈りに会いましょう」との問いかけに校長先生、児童より「稲刈りまでのお米づくりをお願いします」と答えました。

苗の植え方、植える時の田んぼでの歩き方について説明を受け、コシヒカリの苗で田植えを始めました。四・六年生は田植え経験があるので、上手に田植え作業を進め、初体験の三年生は、同組合法人の組合員に教わりながら、田植え作業を行ないました。五、六年生は自分の植える所を終えると三年生の田植えの応援をし、みんなで協力して、田植えを終えることができました。最後に児童が感想を発表し、「昨年より上手に植えた」「楽しかった」「昨年より服を汚さず植えた」など発表したあと、前田氏は「みんなが三本ずつ植えた苗が何本になるか楽しみにしててください。次は九月の



楽しそうに田植えをする児童



児童が昔ながらの米作りを体験し秋の実りを！

かほく市指江区は、新興住宅地の子供にも米作りに感心を深めてもらおうと、指江子供会の児童や保護者ら約三十人を招き、五月五日のこどもの日、田植え体験を行いました。指江アグリ営農組合と指江農地水活動組織が協力。同組合員が苗の植え方や田んぼの歩き方など説明。最初は田んぼに入ること戸惑っていましたが、時間の経過と共に

に慣れ、積極的に苗を植えていました。収穫までは同組合が管理し、八月下旬に稲刈り体験をする予定です。



泥んこのなかで苗を植える児童

美味しいみそ造り大豆栽培から開始

かほく市立大海小学校三年生十九人は五月十六日、同市瀬戸町の一・五アールの畑に大豆「エンレイ」の種を植え、地元で伝わる減塩・無添加の「大海みそ」造りを開始しました。

児童は同町の高崎武義さんと政勝さん兄弟指導の下、二十センチに切った竹を使い、掘った深さ三センチの穴に種を二粒ずつ入れ、しっかりと土をかぶせました。

児童たちは汗だくになりながらも、鳥から種を守るため畑一面に協力しながら防鳥テープをはり、大きくなるよう生育を願いました。今後、児童は大豆の栽培からみその仕込みまでの体験を行ないます。



竹を使い穴を掘る児童

ほ場整備を記念し かほく市長 初田植え

かほく市の気屋地区ほ場整備協議会は六日、ほ場整備の一部完成を記念して、「気屋ほ場整備記念田植祭」を行いました。式典に先立ち、千七百十六年に作られた歴史ある大谷堤の改修状況を確認。式典では、油野和一郎かほく市長が「ほ場整備に携わった方々や集落の方は、とても感慨深いものがあると思います。ぜひ、緑の水田と気屋のこの環境をしっかりと守ってほしい」と祝辞を述べました。完成後、初の田植えとなったほ場では、油野市長が初めて田植機に乗り、早生の「つきあかり」を植えながら水田を一往復しました。

備します。六百七十筆の田んぼが七十一筆に整備され、事業費は六億四千万円。二〇一八年度末には七割の整備が終わる見込みです。集落では昨年、農事組合法人「高峰ファーム」を設立し、今年から本格的に営農活動を行っており、この日は大勢の組合員が田植祭に参加していました。



ほ場整備記念で田植えをする油野市長

美味しく育ちますように かほっくり定植体験

農事組合法人大崎甘藷生産組合は五月二十一日、かほく市大崎の喜綿雅之同組合代表理事の畑で栽培学習を行ない、外日角小学校・金津小学校・大海小学校の二年生八十二人が特産品「かほっくり」の苗を定植しました。

はじめに、同組合の喜綿和彦氏から「暑いですが、楽しく植えることを目標に、頑張ってください」とあいさつ。県央農

林総合事務所津幡農林事務所の金曾正秋氏から、苗の植え方の説明を受けました。

同組合が提供した苗を一人五本手に持ち、畝を壊さないよう移動した児童は、目印に自分の名前を書いた木札を立て、生産者に教わりながら苗の先を傷付けないように丁寧に苗を植えました。



生産者に教わり苗を植える児童

この体験は食農教育の一環として毎年行なわれており、作業を終えた児童からは、「難しかったけど楽しかった」「美味しく育って欲しい」と感想を話していました。十月には収穫体験を予定しており、秋の収穫を楽しみにしています。

ひまわり村 園児が種まき

河北潟干拓地の夏を彩る「ひまわり村」の開村に向け五月二十三日、津幡町湖東の同所一・三ヘクタールでひまわりの種まきが行なわれ、河北潟周辺二市二町から園児約百八十人が参加しました。

園児は畑地の約三百五十平方メートルに、大きな花を咲かせるのが特長のハイブリッドサンフラワ―の種をまき、ひまわりが大きく育つよう、しっかり土をかぶせま

した。



ひまわりの種をまく園児

ひまわり村は干拓地農業へ理解と親しみを深めてもらうことを目的に平成七年に開村。ひまわりの花が見頃となる七月三十一日に開村式を行ない、子どもたちに「ひまわり迷路」で遊んでもらう予定です。

五月二十七日は 小松菜の日

河北潟施設園芸部会の笠間勝弘部会長ほか五名は、五月二十七日の「小松菜の日」に、金沢市のマルエー三店舗で「河北潟こまつな」の試飲販売を行ないました。店舗は日曜日の午前中とあって来店者で賑わう中、部会員は、小松菜を使ったグリーンスムージーを試飲してもらい「河北潟こまつな」をPRしました。グリーンスムージーは手軽に美味しく栄養をとれる



グリーンスムージーを試飲する来店者

ことから好評で来店客からは「おいしい、何が入っているの？作り方は？」などと聞かれ、レシピで説明すると「河北潟こまつな」を手にとって買い求める方が大勢いました。

第三十回世界の「風の祭典」に参加

一支部一協同活動

内灘町の内灘海水浴場特設会場で五月十三日、第三十回世界の風の祭典が開催されました。

今年も、当JAからは、内灘支店役職員、支店活性化委員が参加。イベント当日は、朝から雨で風もあまりない悪条件のため、大きな風を揚げるのを断念するチームがいくつかありました。当JAキヤクター「ほくの里」の六畳風

もあがる

ことはで

きません

でしたが、

支店活性化

化委員をはじめとした、内灘支店役職員が地元野菜食材を使った、タケノコご飯や、焼きそばなどを振る舞い、地元住民とふれあいがら、交流を深めました。



参加者の集合写真

高松支店活性化委員花で店舗づくり

一支部一協同活動

五月二十五日、高松支店活性化委員六名と支店職員は、支店前に設置するプランターに毎年恒例の花苗を植えました。今年の花はジニアプロフュージョン、花言葉は「高貴なところ、幸福」、花期は六月〜九月です。津田支店長は、「来店された、皆さんの心をなごませ、幸福感につつまれると期待しています」と話しました。



花苗を植える支店活性化委員

また、七月初旬には一支部一協同活動の一環として、瀬戸町子ども会が支店前に七夕飾りをつくる予定です。

宇ノ気陶芸教室

一支部一協同活動

宇ノ気支店では、五月七日から五月末までの間、宇ノ気陶芸教室生徒の作品を展示しました。思い思いに作られた色鮮やかなお皿や茶碗などのほか、カエルやフクロウなど動物の置物も展示され、来店者を魅了し、目を楽しませてくれました。松本支店長は「今後



める店舗づくりに取り組んでいきたい」と話していました。

緑に癒やされウォーキング さくらの会

高松支店は五月二十三日、女性大学スマイルスクールの卒業生と在校生で構成した「さくらの会」の活動として、石川県森林公園で森林ウォーキングを開催しました。講師の寺田美穂さんからノルディックウォーキングの指導を受けた十二名の参加者たちは、小雨の降る中、ウォーキングを開始。道中、森林公園インフォメーションセンターの内藤善太さんから木々

の種類や咲いている植物についての説明がありました。参加者は、ヒノキの葉を手に取り香りを楽しむなど、雨上がりの大自然の澄んだ空気と緑に癒やされました。



ウォーキングを楽しむ参加者

全力で支えます! 組合員のための「JA自己改革」実践中!!

Vol.2

今回は、六次産業化商品による「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」の取り組みについて紹介したいと思います。当JAでは、これまでに六次産業化商品を試行錯誤しながら開発してきました。

◆ほくの里焼き



平成27年にキャラクターほくの里の焼き型を作成し「ほくの里焼き」を作り、中味は餡子、かほく市産のサツマイモ「かほっくり」餡、津幡町興津産カボチャ「興味津々」餡、津幡町産紫インゲン豆「いけなら紫」餡を入れてイベント等で販売をしました。

◆らっきょうキムチ



平成27年に内灘町産らっきょうを使用して「らっきょうキムチ」を小松市の加工業者に依頼し、商品化に向けて開発し、イベント等で販売をしました。

◆焼菓子（タルト）「Monbei かほくの恵み」



平成28年にかほく市特産「紋平柿」を使用して「Monbei かほくの恵み」を高松紋平柿生産組合と4年の歳月をかけて開発・販売しました。

柿の果肉を粗くするつぶし、生地になっぴりと練りこみ柿の風味とツブツブの食感が楽しめます。

◆まこも焼酎 「ほくの里」



平成28年に生産物のブランド力を高めるために、津幡町特産「マコモタケ」と地元産コシヒカリを使用し焼酎を醸造して、まこも焼酎「ほくの里」を開発販売しました。

◆いけなら紫「甘納豆」「細うどん」「チョコサンド」



平成29年には津幡町産紫インゲン豆「いけなら紫」を使用して地元和菓子店に協力してもらい「甘納豆」、県外製粉業者と「細うどん」、県外菓子メーカーと「チョコサンド」を開発、販売を開始しています。平成30年3月に津幡ブランドとして認定を受けました。

まこも焼酎「ほくの里」、「Monbei かほくの恵み」、いけなら紫「甘納豆」「細うどん」「チョコサンド」はJAグリーンかほく、道の駅高松、金沢駅内Aガイヤ等で販売されています。

今後も生産物を無駄なく有効利用し商品化を進め、少しでも販売単価の向上につなげ、特産品・希少な生産物等の生産量拡大の向上を図っています。





五月二十五日に津幡町竹橋の道の駅利伽羅源平の郷倶利伽羅塾にて『助けあい組織につこり百彩会のつどい』が開催され、「平成二十九年度の活動報告」、「平成三十年度活動計画」及び、「役員改選案」が報告され、拍手で承認されました。

当JAの種本代表理事専務が

ほのぼの
だより

生活に笑いを

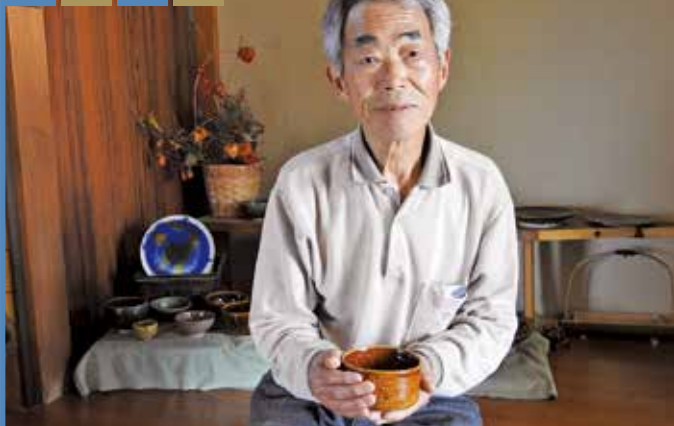
「地域の発展には、女性の力が不可欠です。皆さんも、ぜひ、この百彩会の活動を通して地域発展のため、ご活躍を願いたい」とあいさつし、山崎保子会長のあいさつでは「協力会員の高齢化が進んでいるが、利用会員からの感謝の言葉や労いの言葉を励みにまた一年頑張っていきましょう」と参加者に呼び掛けられました。

続いて、今年度の活動報告と計画では各チーム、地域の特性や利用会員の力を生かしている楽しい活動の紹介があり、新たに加わった領家チームを含め八チームとなり、協力会員同士が、日頃の活動の情報交換など楽しく交流を行っていました。

講演では、全国で講演活動されているラフターヨガ講師の工藤奈緒氏をお迎えし、「笑って元氣・健幸・爽快」をテーマにお話を聞き、参加者は笑うことの大切さを改めて学びました。日常できる笑いヨガで、お腹から声を出し大いに笑い合い、笑顔が輝き、帰る時には『につこり百彩会』の名のあるとおり「につこり」"されていました。

につこり百彩会事務局
岩本 大輝

私の趣味



かほく市 杉本 邦昭さん

7年前、健康のためにはじめた陶芸も、今では趣味として、週に一度、宇ノ気陶芸教室に参加しています。宇ノ気陶芸教室では、みんな、楽しみながら思い思いの作品作りに取り組んでいます。抹茶茶碗、お皿など色んな器に挑戦していますが、器の形や焼き色具合など、その時にしか生まれない魅力的なもので、自分の思い通りの作品が仕上がったときは、嬉しさのあまり自然と顔がほころびます。これまでの作品は、自宅の玄関に飾ってあるほか、友人にあげたり、料理をのせて使うなどやりがいも感じています。やはり、自分で作った器で食べるご飯は格別に美味しいです。これからも陶芸という趣味を大事に心も体も健康でいられるよういきたいです。



津幡町 農事組合法人 刈安宮農組合



平成19年に26名の農家で農事組合法人刈安宮農組合を発足し、約11haの水田にコシヒカリ、ゆめみづほを主に栽培していました。平成30年度から経営規模は約13.5haになり、輸出米用の品種あきだわらとゆめみづほを栽培するほか、うち約2haを飼料用米とソバの二毛作に取組み、(株)JAアグリサポートかほくから約2.8haの受託作業を請負しました。

発足から12年経ち、農業機械の更新、後継者不足が課題となっており、厳しい時期にきていますが、これを持ち切り、全員一丸となっておいしい米づくりに励んでいきます。



ご飯をおいしく 食事を楽しく

「キッチン晴人」のオーナーシェフ 永井 智一 氏

エダマメとゴボウのオープンサンド



材 料 (1人分)

エダマメ……………	大さじ4	ソース		
ゴボウ……………	1/2本	[	マヨネーズ……………	大さじ2
食パン……………	1枚		粒マスタード……………	小さじ2
バター……………	適量		米酢……………	小さじ1/2
生ハム……………	1枚		塩・こしょう……………	適量
スモークサーモン…	2枚			
サラダ野菜、レモン				
	適量			

作り方

- 鍋に湯を沸かし、塩・酢（分量外）、3cmほどに切ったゴボウを入れゆでる。
- ゆで上げたゴボウが温かいうちに、塩（分量外）ゆでし皮をむいたエダマメと一緒にソースの材料と混ぜ合わせる（エダマメは最後に使う分を適量残しておく）。
- 食パンを焼いて半分に切りバターを塗り、②とサラダ野菜・スモークサーモン・生ハムをトッピングし、最後に残したエダマメを散らしレモンを添えて出来上がり。

焼きエダマメのすり流し



材 料 (2人分)

エダマメ（さやごと蒸し焼きにして取り出したもの）……………	大さじ4	塩・薄口しょうゆ……………	適量
かつおだし……………	1と1/2カップ	EVオリーブ油……………	適量

作り方

- さや付きのエダマメを塩でもみ、アルミホイルで包み、トースターで15分蒸し焼きにし、さやから取り出す。
- ①と、かつおだしをミキサーにかける。エダマメは最後に使う分を適量残しておく。
- ②を塩・薄口しょうゆで味を調え、器に注ぐ。仕上げにEVオリーブ油を掛け、残したエダマメを落として出来上がり。

ポイント

すり流しの濃度は、だしでお好みに調整してください

料理レシピ
募集

ご家庭で簡単にできる、地物・旬の食材を使ったレシピを募集しています。
投稿くださったレシピをリバノスやホームページで紹介したいと思いますので、皆様のご自慢料理を送ってくださいね！
また、いろいろな食材の保存方法をご存知の方も、併せて募集しています。
たくさんのレシピをお待ちしております。

募集方法（封書でお送りください。）

- 住所、氏名、電話番号
- 料理名または食材名
- レシピまたは保存方法（簡単にお書きください。）
- 一言コメント ※1～5の事項を必ずご記入ください。
- 写真

宛先

〒929-0326
河北郡津幡町字清水チ329
JA石川かほくりバノス編集局

※レシピが多い場合は、リバノス編集局で選定させていただきます。



さあ作ろう！

家庭菜園

森田 恵子

七月の作業

梅雨が終われば
暑い夏の到来です
ね。梅雨明け後は、
果菜類に敷きワラ
をして地温の上昇



を抑え、追肥や水やりに注意し
てください。特にカラーピーマ
ンは蒸し暑い夏が苦手なので、
敷きワラをして根を守ってやり
ましょう。ナスやピーマン類は
整枝と誘引をして、株の日当た
りや風通しを良くしてやりま
しょう。さて、今月は秋野菜の
種まき・育苗が始まります。

キャベツの育苗

品種は昨年のリバノスで紹介した
とおりです。八月上旬は雨が少ない
ため、灌水設備の無い畑では水やり
に苦労します。盆過ぎの定植が作り
やすいと思います。盆過ぎに定植す

る計画で種をまきましょう。ただ、

八月初旬に植えつけると十月上旬に
は収穫できるので、早く出荷したい
場合は、初秋又は將軍を選んで栽培
してみてください。

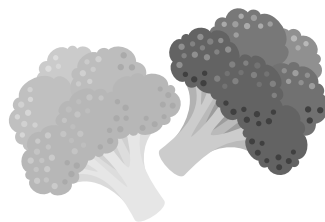
育苗のポットの大きさを育苗期間
が変わりますが、約三十日を目安に
してください。私は、十八日頃に十
月中下旬収穫のあまゆたか、彩風を
まきますが、水稻の育苗箱に収まる
七十二穴のセルトレーを使い、キャ
ベツとカリフラワーとブロッコリー
を同時にまいています。二十五日頃
に十一月収穫の彩音などをまきます。
夏の育苗トレーは地面に直接置かな
いで、ブロックと
垂木を使って地面
から10cm以上離し
た棚を作り、棚の
上で育てるのがコ
ツです。

ブロッコリー・カリフラワーの育苗

キャベツと違って十月上旬の収穫



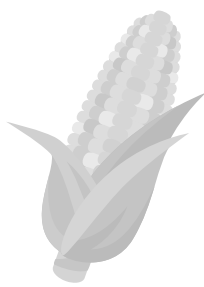
を狙っても、気
温が高過ぎて良
い品質の物が収
穫できません。
盆過ぎの定植予
定で種をまきま
しょう。ブロッ
コリーも紫の品
種がありますが、近年、カリフラワ
ーの新品種が多く発売されています。
オレンジ色や紫、巻き貝の集合体の
ような形や取り遅れのようなカリフ
ラワーなど色々あります。栽培して
みませんか。



抑制スィートコーン

品種は、キャンベラやピーターコ
ーンで袋に数字が記載されています
ので、数字の大きい中早生種を七月
中下旬にまくと十月上旬に収穫す
ることが出来ます。畑に直接まくほ
うが発芽の失敗は少ないと思います
が、欠株用に苗を作っておきまし
ょう。育苗する場合は、七十二穴のセ
ルトレー

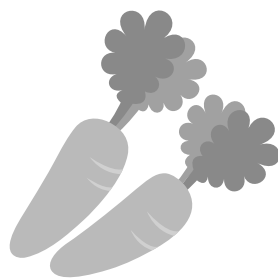
に土を詰め、灌水
した後に
種のとん
がり部を



下にして埋め込み、新聞紙をかけま
す。培土が乾いたら灌水しますが、
水のやりすぎは、種が腐敗する原因
になりますので注意してください。
本葉二枚で植え付けてください。

秋ニンジン種の種まき

七月下旬
から八月上
旬にかけて
種まきをし
ます。ニン
ジンは発芽
で成否が決



まります。丁寧に耕起して畝を立て
ます。出来れば畑が十分に湿った状
態の時に種をまくと良いのですが、
この時期、降雨があまりないので乾
燥している時は、種まき後、十分に
水やりをしてください。その後、切
りワラかモミガラで覆って乾燥を防
止し、発芽を促します。本葉二枚期
までは乾燥させないよう注意して
ください。特にコーティング種子の場
合は、播種時に十分水やりをしまし
ょう。近年、芯まで赤い品種、カロ
テン量が多い品種、黄色や紫色など
のカラーニンジンなどが販売されて
いますので、直売用に挑戦してみ
てはいかがでしょう。

夏の暑さに負けない草花

田中 和人

サルビアやペゴニアセンパフロ
ーレンスなど夏咲き草花の植え付
けは済みましたか。今回は、今か
らでも植え付け可能な暑さに強い
サンパチエンス、ニチニチソウ、
サフィニアを紹介いたします。

【サンパチエンス】

先日「そく
さいかん」で
サンパチエ
ンスのポット苗
を見つけまし
た。サンパチ
エンスは「サ
カタのタネ」
がインパチエ
ンスの仲間を



インパチエンスとサンパチエンス (右)

育種開発し、十年ほど前に発売し
た新しい草花です。真夏の太陽の
光にも耐える草花で、名前も太陽
(サン)と、耐える(ペイシエンス
…忍耐の意)が合わさってサンパ
チエンスと名付けられました。本
県でも幼稚園や学校の花壇で見か
けましたが生育旺盛で、株の大き
さは五十〜六十cmありました。真
夏に楽しめる品目として一度は作
ってみたいですね。

◆栽培管理ワンポイント

家庭では鉢植えが向いていると
考えます。六号鉢に一株植え、株
が大きくなったら一回り大きな鉢
に植え替えます。真夏は西日の当
たらぬ日当たりの良い場所に置
きます。水をよく吸収するので土
の表面が乾いてきたら十分に水を
やります。生育旺盛なため肥料を
切らさないよう月に一度緩効性肥
料を置き肥します。

【ニチニチソウ】

気温の上
がる六月頃か
ら植えつけると
生育はスムー
ズで、次から
次と花を咲か
せてくれます。



ニチニチソウ

暑さの中で、濃淡
のピンクや白などの花色と、光沢
のある緑の葉がみずみずしく爽や
かな感じを受けます。花の寿命は
数日ですが、毎日毎日咲くところ
から日草と名付けられました。

◆栽培管理ワンポイント

プランターや花壇への植え付け
間隔は二十cm前後で、ポット苗の
根鉢を崩さないようにし、浅植え

します。日当たり、風通しの良い
場所が適します。次々花が咲き続
けるので月に一度緩効性肥料を与
えます。込み合ってきたところは
本葉を六〜八枚程残して切り戻し
ます。

【サフィニア】

ウイスキー
やビールの製
造会社サント
リーが二十数
年前にペチュ
ニアの仲間を
育種開発した
商品です。名
前の由来は、
波打つ(サー
フ)のように地面に広がる様と、ペ
チュニアを合わせてサフィニアと
名付けられました。発売当時の販
売戦略では、店頭ポップや一鉢ご
との製品ラベル添付、雑誌などで
の宣伝と、それまでの草花苗販売
ではなかったことでした。今では
当たり前の光景ですが、この手法
は苗生産関係者のその後の販売手
法に大きな影響を与えました。



ペチュニアとサフィニア (右)

◆栽培管理ワンポイント

生育旺盛なため植え付け間隔は
六十cm横長プランターで二株程度、
七号丸鉢で一株、それ以上の鉢で
二〜三株植えつけます。茎葉が鉢

の周辺に伸びたところ先端を摘みま
す。何度か繰り返しするとボリューム
のある株になります。肥料は月に
一度緩効性肥料を置き肥します。
肥料切れになると葉や花が小さく
なります。込み合った茎葉は葉を
数枚残して切り戻します。

◇今月の園芸作業◇

カイガラムシの防除適期です。
図1に示したように、カイガラム
シは庭木や観葉植物などの茎葉に
寄生する5mm前後の小さな虫で、
この虫の排泄物が原因ですす病
(すが付着したように茎葉が黒
くなる)が発生します。普段は白
い口吻物質や硬い殻で防備されて
おり、薬剤による防除が難しく、
ブラシなどで削り落とします。六
月初めから七月
中頃は無防備な
幼虫の時期で、
薬剤防除の適期
となります。ス
プラサイド乳剤
などの登録農薬
を七日毎に三回
程度散布します。

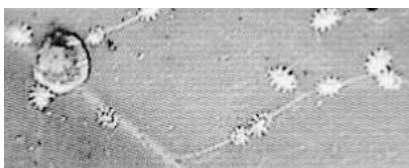


図1 カメノコロウムシの成虫(左上)と幼虫

※カメノコロウムシの写真は石川県病
害虫診断防除ハンドブックから引
用(発行:石川県植物防疫協会)

お便り OTAYORI コーナー

✉ 今年もまたまた畑に出ていく季節がやってきました。あんなにつもりにつもった雪にもへこたれず玉ネギの長い葉がピンとたっています。「あなたたちは、えらい!!」とつい声をかけてしまいました。玉ネギくん達にまけてはいられませんね。作業用の手ぶくろを新調しましょう!

内灘町 荒木 好美
人も今年の大雪に負けじと除雪を頑張りました。「わたしたちは、えらい!!」と思います。玉ネギも雪のなかで春に向けて準備をしていたと思います。収穫に向けて畑作業を頑張ってくださいね。手ぶくろはJAグリーンかほくに販売しています。

✉ 昨年、スマイルスクールで収穫したこんにゃくいもの生子を4月末に植えました。上手に育つといいのですが…。

かほく市 鶴見 雅美
11月頃の収穫が楽しみです。ぜひ、こんにゃく料理を作って家族の方に食べさせてください。先日、6期生みなさんもこんにゃくの講座を受け、定植されました。いっしょに大きく育つように期待しています。

✉ リバノスの表紙にさりげなく「ほくの里」、かわいい、おもしろい姿が工夫されています。

津幡町 木本 京子
ご愛読ありがとうございます。現在、使用しているデザインは38種類作成されています。その季節、その状況に応じて使われます。どんなデザインを使っているか、数えてみてはいかがでしょうか。LINEスタンプの「ほくの里」もあります。かわいいスタンプですのでご購入して活用してみてもいいでしょう。

✉ やっかいものの畑の「流金花」。駆除

する良い方法は、ありませんか。あったら教えてください。

津幡町 山本 節子
「流金花」は根っこに塊根を持つ花です。対策としては、根っこまで枯らす除草剤を使うといいと思います。ご購入、使い方については、JAグリーンかほくにたずね下さい。ちなみに、「流金花」の花言葉は「必ず来る幸福」だそうです。



その他、たくさんのお便りが届いています。紙面の都合上、全員の方のお便りを載せることができない場合もございます。ご了承下さい。実名で載せていただいておりますが、匿名希望の方は明記してください。お便りをお待ちしております。

<お便りのあて先>

〒929-0326 河北郡津幡町字清水チ329

JA石川かほくリバノス編集局

題手

秀

手間ひまをかけて育てた米の味

加藤 初美(牛首)

石本よし一 選

評 農業も農村も、機械化ですっかり姿を変えてしまった。猫の手も借りたといふ、黒山になつて田植えをした、農村の風景はどこにも見られない。
米づくりに国際化の時代で、外国の米と値段だけが争われているように、われわれは日本人の舌にあつた旨い米を追い求めている。雨にも負けず、風にも負けず、おいしい米づくりに、汗を流している農家に、感謝を忘れてはならない。

佳作

すし職人握る手捌き芸の域

洞庭 泰(川尻)

手と手と手みんなつないで笑顔の輪

押切 幸子(川尻)

絵手紙は心と心つながる友

竹田 盈子(緑が丘)

働いた証しの父の大きな手

永多 澄枝(牛首)

愛を込め握ったおにぎり味深く

河合 雅子(津幡)

入選

老夫婦互いの杖に手をつなぐ

加藤 秀子(五反田)

帰省客母の手造りかくし味

善 すすえ(川尻)

機械化で猫の手いらぬ田植えとき

宮本由紀子(宮坂)

夫婦愛手足となつて支え合う

田村 悦子(大根布)

痛い手がいたむ足まで日が暮れる

古林 照子(長柄町)

何よりも若手がほしい老いの村

長谷 豊枝(牛首)

デイサービス手品の慰問ありました

山下アヤ子(牛首)

更新の手続き最後免許証

藤沢 充子(瓜生)

階段の手すりに甘え老いを知る

松田 妙子(浅田)

握手する心の内を推しはかり

松村小夜子(岩崎)

手が動く今日の特売つめ放題

福田 貞子(岩崎)

手相見のルーペが覗く過去未来

一羽トモ子(南中条)

腰痛の手術が終り粥する

山崎 洋子(横浜)

手さぐりで育てたイチゴ三粒なる

兼保 直美(潟端)

よろめいてつなぐ両手は命綱

吉田 順子(舟橋)

手も足も出ない話に口を出し

井田 宏子(井野河内)

合格の知らせを聞いて手をあわす

越野 香(二ツ屋)

手と足を頼りに生きる八十路坂

吉本 成子(気屋)

九月号題 「踊」三句マデ

● 締切り 七月十日必着

十月号題 「仲」三句マデ

● 締切り 八月十日必着

▲ 投句先

〒929-0326 河北郡津幡町字香堤寺ワ三

※投句の際、住所・氏名をお書き忘れのないようお願い致します。

石本よし一 宛

スマイルスクール

珍しい、 こんにゃく芋を育ててみよう！

6期生

スマイルスクール6期生25人は、5月10日、西部低温倉庫で「プランターDE野菜づくり」と題した講座を受講し、こんにゃく芋を植えました。

こんにゃく芋は初めてという人がほとんどで、珍しい野菜とあり、受講生は興味津々。石川県県央農林総合事務所の池端郁美さんと松野由莉さんから、こんにゃく芋の育て方や管理の仕方を習い、プランターに土を入れ植えました。

作業後、受講生から順調に育った芋の大きさについて質問があると、講師が「大きいもので600g～700gの大きさになり500gで、こんにゃく板8枚分になります」と、答えた瞬間、受講生達から「オーッ」と声があがり、育つ芋の大きさや、作れるこんにゃくの量に驚いた様子でした。11月には、自分が育てたこんにゃく芋を使ってこんにゃくを作る講座が予定されているため、受講生は真剣に説明を聴き、大きなこんにゃく芋を収穫できる日を楽しみに期待を膨らませていました。



講師から植え付けの説明を受ける受講生



こんにゃく芋を植える受講生

満開に咲くのが楽しみ

7期生

7期生33人は5月9日、当JA西部低温倉庫で第4回「プランター栽培講座」を受講し、花苗と野菜苗を植えました。

栽培に挑戦するのは、ペチュニアシリーズの小輪がたくさん咲く「ギュギュ」と皮が薄く、酸味や甘味のバランスが良い、従来のミニトマトと違う「ピンキー」の2品種。

石川県県央農林総合事務所の池端郁美さんと松野由莉さんから、花の特徴や植え方、管理の仕方など説明。ふんわりボリュームが出るよう上手に花を咲かすコツなど受講生達は、一生懸命メモをとりながら聴いていました。作業になると大きなプランターに土を詰め、自分で苗を選び、受講生は会話をたのしみながらも手際よく植えました。作業後、受講生から、わき芽のとり方など次々と質問があり、満開に咲かせようと張り切っていました。



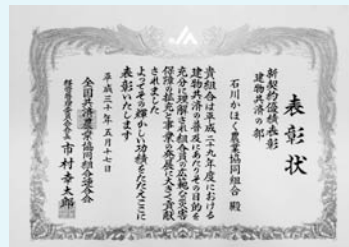
講師から説明をうける受講生



プランターに野菜苗を植えつける受講生

JA共済優績組合表彰を受賞

平成29年度JA共済優績組合表彰式が5月17日、都内のホテルオークラ東京で開催され、井上信一代理事組合長が出席しました。当JAは、組合員・利用者の方々に「安心」と「満足」を提供し、保障の拡充と事業の発展に大きく貢献したとして「建物共済の部」で新契約優績表彰を受賞しました。



イケメン中学生が ほのぼのデイサービス職場体験

職業体験を通して、望ましい勤労観・職業観及び職業に関する知識を身につけさせるとともに、働くことの大切さと社会的マナー（礼儀）や言葉遣いなどを身につけて、多くの職業人と触れ合う交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めることを目的に職場体験学習が3日間実施されました。具体的体験内容として昼食の準備、トレーニング機器等による体操訓練、利用者との会話、施設周辺清掃等を体験しま

した。今回参加した津幡南中学校の男子2名は普段からおじいちゃん・おばあちゃんと生活しており、利用者と楽しくコミュニケーションをとれましたし、職員が指導する体操訓練にも積極的に参加し、有意義で楽しい時間を利用者と一緒に過ごしました。

ほのぼのデイサービス 施設長 林 茂則

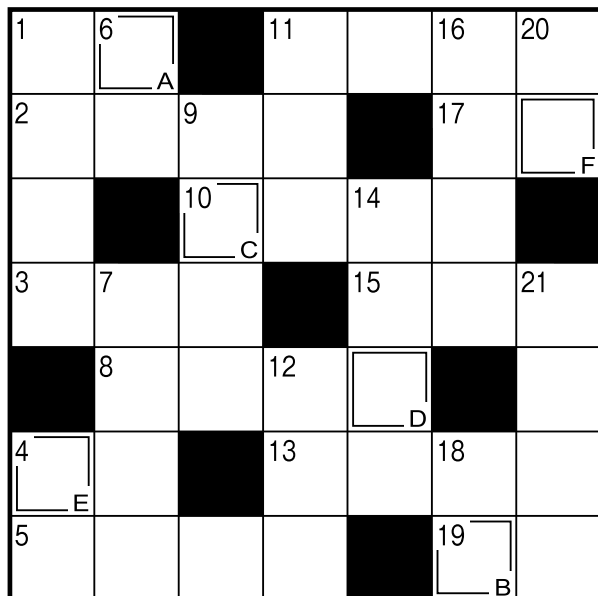




クロスワードクイズ 頭の体操??

Q

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



タテのカギ

- 1 酒を飲むための小さな器
- 4 整形——で膝の関節を診てもらった
- 6 料理をのせます
- 7 今度来た新人は仕事の——が早いね
- 9 ラストスパートです
- 11 本能寺の変を起こした——光秀
- 12 乱れたものをきちんと直すこと
- 14 親から子へ受け継がれます
- 16 こういうことはここじゃあ日常——だよ
- 18 虫をよけるため布団の周りにつります
- 20 アウトの反対語
- 21 サッシと呼ばれることも

ヨコのカギ

- 1 七夕の飾りに使う植物
- 2 歌うことを楽しみにいきます
- 3 シイタケ、シメジ、エリンギなど
- 4 お酒が飲めません
- 5 ピカッ、ゴロゴロゴロ
- 8 音を遮断したいときにはめします
- 10 社会の——として地域に貢献する
- 11 カタツムリが似合いそうな花。鎌倉の明月院は——寺と呼ばれます
- 13 輪島市や加賀市や金沢市はこの県の市
- 15 鎖国中にも貿易が行われた場所
- 17 書類や伝票につきます
- 19 俳優が演じたり入り込んだり

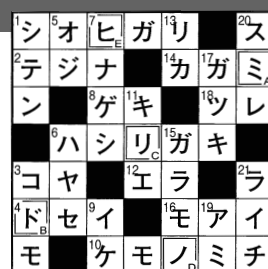
PRESENT

- ◆応募方法 ハガキに①答え②住所・氏名・電話番号③本誌に対するご意見・身近な役立つ情報などをご記入の上、下記あて先までご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に1,000円分の商品券をプレゼントします。
- ◆あて先 〒929-0326 津幡町字清水チ329 JA石川かほく「リバノス編集局」
- ◆応募締切 7月10日（消印有効） ◆当選発表 リバノス9月号

5月号クイズ当選者

〈答え〉ミドリノヒ

- 黒田美津子 さん
- 河原 重子 さん
- 池田 悦子 さん
- 北本 恵子 さん
- 森田 年子 さん



第2回 理事会だより

平成30年5月31日(木)開催

●審議事項

- 第1号議案 第24回通常総代会提出議案について〈別冊1〉
- 第1号議案 第24年度事業報告、剰余金処分案の承認の件
- 報告事項1 第24年度貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書並びに全国中央会及び監事の監査報告について
- 第2号議案 第25年度事業計画の設定の件
- 第3号議案 第25年度以降建物土地取得処分計画の設定の件
- 第4号議案 定款の一部変更の件
- 第5号議案 信用事業規程の一部変更の件
- 第6号議案 監事監査規程の改定の件
- 第7号議案 理事及び監事の報酬に関する件
- 報告事項2 株式会社JAアグリサポートかほくの運営状況について
- 報告事項3 「JAバンク基本方針」の変更について
- 第2号議案 規約（別表）営業時間・定休日の一部変更について
- 第3号議案 指定介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業所および指定通所介護事業所運営規程の一部変更について
- 第4号議案 役員選任方針について
- 第5号議案 常勤理事の他の団体理事等への就任承諾について

●報告・検討事項

- (1) 各委員会の開催報告
- (2) 平成30年4月末事業概況について
- (3) 全般統制評価の実施結果について
- (4) 第24年度単体自己資本比率の状況報告について
- (5) 総代選挙結果について
- (6) 株式会社JAアグリサポートかほくの運営状況について
- (7) 当組合と株式会社JAアグリサポートかほくとの契約締結報告について
- (8) 信用事業規程第2の2、(1)、(ハ)に規定する貸付（地方公共団体等）について
- (9) 信用供与先の経営状況等の報告について
- (10) 平成30年度育苗センター実績について
- (11) その他

支店活性化委員から、こんにちは！

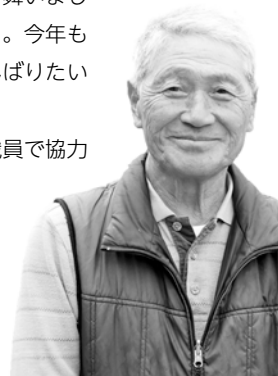
来店のご感謝を込めて

高松支店活性化委員の玄海幸雄です。

高松支店の1支店1協同活動としてプランターの花苗定植から、はじまり年間4回のイベントを計画しています。特におもてなしとして、昨年は蓮根汁を振る舞いました。美味しいとの言葉を頂きました。今年も又、地元食材を使い委員全員でがんばりたいと思います。

これからも支店活性委員と支店職員で協力して地域の皆様と笑顔でつながる活動を行なってまいりますのでよろしく願います。

高松支店活性化委員 玄海 幸雄



認知症を防ぐ

認知症の原因には、脳血管型とアルツハイマー型の二つがあります。

前者は高血圧や糖尿病などで脳の血管が障害されて、脳の神経細胞が広範囲に障害されるタイプです。後者は原因はよく分かっていませんが、脳の神経細胞が障害され、脳が萎縮するタイプです。これらを予防するには、四十代から対策を始めておかなければなりません。

脳血管型では、高血圧や糖尿病をしっかり治しておくこと。アルツハイマー型では、脳を鍛えることで、ある程度は予防できることが分かっています。

東京都健康長寿医療センターでは、認知症予防に役立つ方法をいろいろ研究していますが、低下しやすい認知機能の主な三つの機能すなわち「エピソード記憶」「注意分割機能」「計画力」について、重点的に鍛える方法を勧めています。

エピソード記憶というのは、比較的最近の出来事や、実際体験したことを覚えていて、その記憶を

佐久総合病院名誉院長 松島 松翠

きちんと思い出すことができるという機能です。この機能を鍛えるには、例えば、昨日の昼食に何を食べたかをはっきり思い出す訓練をするとか、日記を付ける場合、今日の日記ではなく一日前や二日前の日記を書いてみることです。注意分割機能は、二つや三つの作業を同時進行しながら、うまく実行できる機能です。たまった新聞や手紙などを手際よくまとめたリ仕分けしたりする行動や、二つ以上の料理を同時に作る作業が有効です。

計画力を鍛えるには、例えば複数の店で食品や日用品などの買い物をするときに、どのように移動したら効率的なルートになるか考えてみることです。また、旅行のプランを立てたり、囲碁や将棋、マージャンなどでさまざまな作戦を考えるのも、計画力の鍛錬に役立ちます。



年金友の会 会員の皆さまへ JAさわやか健康ウォーキング かみこうち 上高地

健康ウォーキングも好評により7回目を迎え、今年度は日本を代表する景勝地の上高地といたしました。さわやかな風を感じにお友達をお誘いのうえご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

旅行日程

平成30年

8月8日(水)

内灘・津幡・津幡東支店

募集人員:160人 管内の方が対象

8月10日(金)

宇ノ気・高松支店

募集人員:160人 管内の方が対象

旅行代金

6,900円



JA石川かほく

年金ご紹介キャンペーン

平成30年8月31日(金)まで

【対象者】JA石川かほくで年金を受給されている方

☆JAで年金をお受け取りできるご友人・お知り合いの方をご紹介いただければ、

「JA商品券
1,000円分」を
プレゼント致します！



¥1,000券

年金受給者特典

- 毎年1回、粗品プレゼント！
- 定期貯金の金利上乘せ！
- グラウンドゴルフ大会への参加！
- 温泉旅行・歌謡ショーや健康ウォーキングにご参加いただけます！
- おケガがあればお見舞金を受け取れます！



詳しくは、各支店窓口にお問い合わせください

夏の かほく市特産品

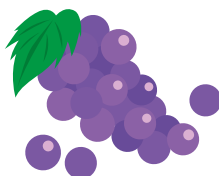


高松ぶどう

かほく市高松特産『高松ぶどう (テラウエア:種なし)』は、砂丘地で栽培されています。太陽の恵みをいっぱいに浴び糖度が高く、一粒一粒が大きいので食べ応えがあるのが特長です。

生産者はエコ農業推進団体に認定され、環境に優しく、安全・安心なぶどう作りに努めています。生産者が真心込めて育てたぶどうを、是非ご賞味ください。

高松ぶどう生産組合



販売期間: 7月初～中旬

お問い合わせ先

営農経済部
JAグリーンかほく

TEL 076-288-7555 FAX 076-288-7660
TEL 076-288-8400 FAX 076-288-7955

砂丘育ちの味自慢

甘さ満タン

大崎すいか



生産者が真心を込めて育てました。旨さがたっぷり詰まった産地自慢のすいかです。ご家庭・ご贈答用にどうぞ！

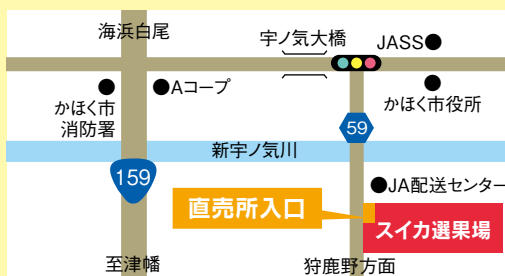
直売所(宇ノ気野菜集出荷場)での販売期間

7月初旬～7月末まで 午前9時～正午

日によっては時間が変更となります！

7月14日まで 月・水・金曜日 15日以降は 土曜を除く毎日(予定)

※随時、JAグリーンかほくにて販売いたしますので、直売所が休みの日はJAグリーンかほくをご利用ください。



宇ノ気大橋信号から約500mです。

お問い合わせ先

営農経済部 TEL 288-7555 FAX 288-7660
宇ノ気野菜集出荷場(かほく市森ワ44-1) TEL・FAX 283-4531



作業員さん募集!

募集人数 約30名
*定員になり次第締め切ります

時給 850円～1,200円

期間 6月下旬～7月末頃迄

作業時間 午前8時～正午
(日によって超過、短縮あり)

作業場所 JA石川かほく宇ノ気野菜集出荷場
(かほく市森ワ44-1)

作業内容 スイカ箱詰め・積み込み等

簡単な作業です！
お気軽にお電話下さい。

お問い合わせは、
大崎園芸生産組合
(事務局) 営農経済部 営農販売課
☎076-288-7555
(新村まで) (月～金)